

第二回全国みんけん連総会 公益財団法人 雨岳文庫と 雨岳民権の会の取りくみ

日時： 2021年3月20日
報告：豊 雅昭（雨岳民権の会）

1

<内 容>

【1】公益財団法人「雨岳文庫」と山口家住宅

(1) 雨岳文庫の位置

(2) 組織再編

(3) 山口家住宅(国登録重要文化財 1998年、豪農屋敷、大規模古民家 地代官屋敷)

【2】雨岳民権の会の現状と課題

【3】雨岳民権の会の取りくみ—資料館活用—

(1) 資料館オープン展示(「湘南社の活動」を中心に)

2008年～09年

(2) 第一回 相州自由民権135周年記念事業(建碑・記念講演・資料展)

2016年

(3) 第二回 相州自由民権資料展(民権散歩)

2020年

【4】湘南社民権講座の開催

・ 第一回 「湘南社と山口左七郎」(2017,5,30) ・ 第二回 「伊達時とその時代」(2017,11,17)

・ 第三回 「かながわの女性史から見る自由民権の時代」(2018,5,27)

・ 第四回 「今 自由民権運動を見直す」(2018,10,14)

・ 第五回 「地域に刻まれた歴史を見る眼差し」(2019,5,26)

・ 第六回 「カンカラ三線 現代の自由民権を歌う」(2020,10,31)

【5】雨岳文庫HPより

2

【1】 公益財団法人「雨岳文庫」と山口家住宅

(1) 雨岳文庫の位置

神奈川県伊勢原市上粕屋862-2

＜地図中の地名＞

- ・秩父・五日市・東京
- ・町田・横浜・厚木
- ・伊勢原・秦野・平塚
- ・大磯

＜多摩地域も明治26年まで神奈川県だった＞



3

大山(雨降り山)1252 ㍎ (大磯・湘南平より望む)



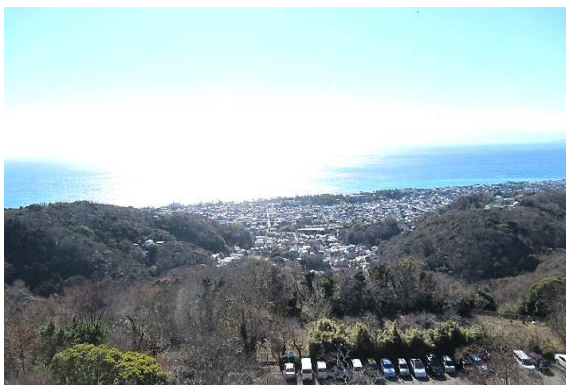
4

湘南の海岸(江の島・相模川・花水川)

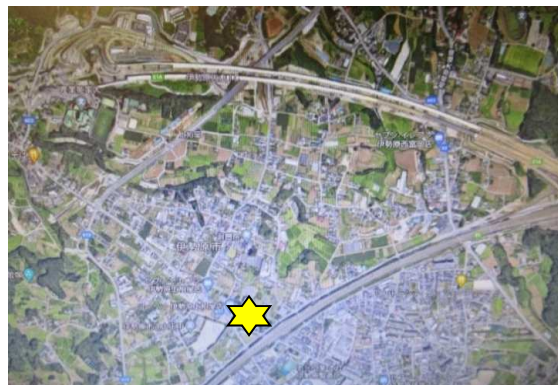


5

大磯のまち



高速道路建設ラッシュ



6

梅林に囲まれた雨岳文庫 (Googlemapより)



7

(2) 雨岳文庫とは

① 特徴

- ・山口家住宅及び所有する古文書、古美術品・什器等文化財
- ・特に自由民権関係資料、他に江戸期、明治から戦後(農政史)
- ・全国五番目の自由民権資料館(デジタルアーカイブス)
「神奈川工科大学」の協力(2012年からネット上で公開)

② 組織の再編(2020年10月)

- ・NPO法人「雨岳文庫を活用する会」(2006年)⇒公益財団法人へ

③ 公益財団「雨岳文庫」を構成する主なグループ

- | | | |
|-----------------|--------|-------|
| ・友の会(ボランティア・寄付) | ・山口家 | ・山佐農園 |
| ・クラブ | ・ガイドの会 | ・民権の会 |
| | | ・自然の会 |

*(参考:雨岳文庫HPより)

8

(3) 山口家住宅－国の登録有形文化財指定(1998年)－

＜幕末・明治期の面影を色濃く残す、歴史・文化的建造物＞

① 歴史的特徴

- ・ 1834年（天保5）頃建築と推定。木造2階建て・片入母屋づくり
- ・ 豪農屋敷、大規模古民家（梁間6間・桁行11間）、地代官役所
- ・ 曳家（元屋敷、御座松）→現在地へ（800^m北西部）
- ・ 領主－旗本・間部（まなべ）家

* 上糟屋村（5給）－村明細帳（1835・天保6）による－
田（38.8町）、畑・屋敷（112町）
農間渡世（小商い17・内旅籠5）

9

② 山口家住宅（正面）

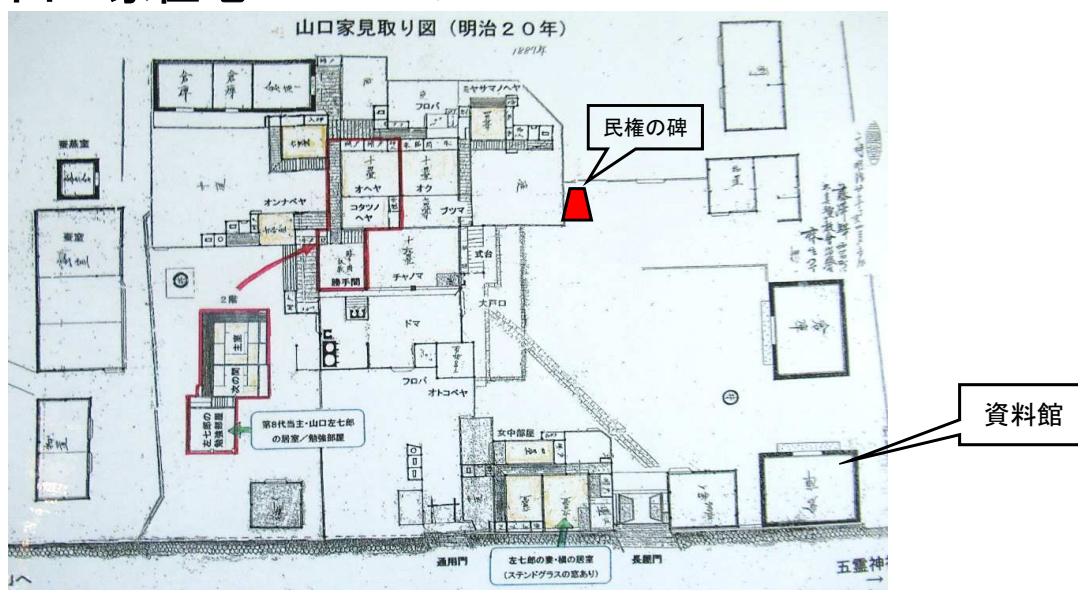
梅干し、右手に民権の碑



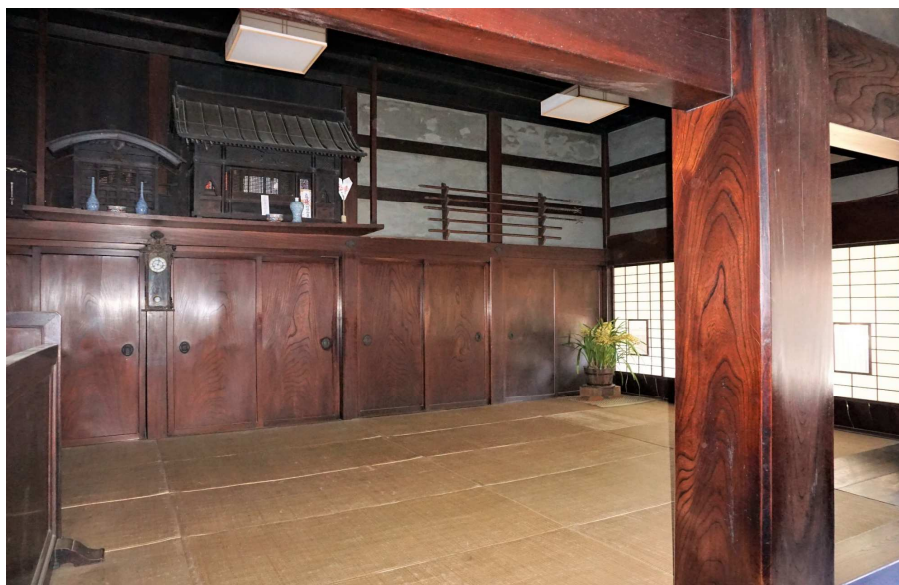
民権の碑

10

③山口家住宅 1階平面見取り図 1887年(明治20)



広い空間と大黒柱(土間から)



オク



13

主室(お殿様の部屋)



14

【2】雨岳民権の会・現状と課題

(1) 雨岳民権の会

- ① 発足（2015年夏、自由民権の碑建立実行委員会として発足）
- ② 会員（約20名、2020年に会則決める。原則として毎週金曜日・午前に活動）
- ③ 主な活動（民権散歩、民権講座、資料展、県内外の研修など）
 - ・民権散歩5回（延期を含む） ・民権講座6回
 - ・資料展2回（その他・ミニ資料展2回）
 - ・県外研修
 - 群馬・栃木（館林、佐野、足尾銅山跡、渡良瀬遊水地等）
 - 福島県（石川町、三春、喜多方）
 - 高知県（県立自由民権資料館）

15

(2) 2021年度の活動計画

- ① 資料展（7月～9月）身近な地域
- ② 民権講座（ 〃 ）
- ③ 民権散歩（武相地域）

(3) 課題など

- ① 組織と運営「会則」(2020年～)
- ② 構成メンバー
- ③ 活動資金の確保
- ④ 財団の維持・運営へのかかわり方
 - ・民権の会（独自事業） ・定例会1回/週（午前中）
 - ・協力、共催事業（雨岳文庫案内）
 - ・協力事業
- ⑤ 地域との連携（地域住民、子どもたち、学校、行政機関など）
- ⑥ 情報の発信力・受容力

16

【3】 雨岳民権の会の取り組み—資料館活用—



＜雨岳文庫資料館オープン展示＞
2008年11月～2009年4月

①内容—湘南社の活動を中心に—
社長 山口左七郎
社員・講師・支援者の横顔

②主な展示資料
手紙・書・襖・文机・論説原稿・規約・規則書など

17

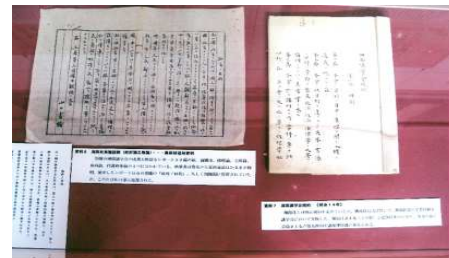
主な人物(伊達時・細川瀏・中島俊子・信行)



中島俊子書(襖)・山口左七郎(文机)



湘南社社員の論説稿・講学会規約



18

湘南社規則書・湘南社通券（整理券）

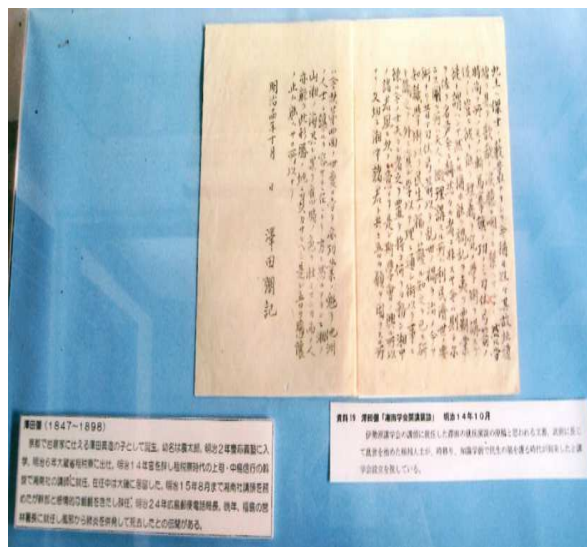


国開設ノ儀ニ付キ建言(1880年6月)



19

講師 澤田 彌みつる（演説原稿か）



講師 細川 瀏きよし(古い写真)



細川瀏 (1865～1932)

20

細川瀏・発見された新しい肖像画(横浜海岸教会蔵)

2016年6月3日東京新聞より



21

(2)第一回 相州自由民権135周年記念事業 ＜建碑・記念講演・資料展＞2016年6月5日



除幕式記念挨拶 安在邦夫先生

22

自由は大山の麓より



自由民権の碑

題辞 大畑哲(雨岳文庫資料館初代館長)

謹書 安在邦夫(早稲田大学名誉教授)

2016年6月5日

23

自由民権135周年記念講演 新井 勝紘 先生



演題

日本国憲法の源流を求めて

2016年6月5日
(雨岳文庫にて)

24

＜自由民権資料展＞ ①湘南社とは

【発会式】1881年(明治14)8月5日、大磯劇場、1000余名

【目 的】諸般の学術の研究・知識の交換
暫次社会改革の機運を通貫

【性 格】学術研究と演説会を兼ねた啓蒙学習機関
演説会・討論会の開催

【事務局】大磯 【会 費】20銭/月

【支 所】伊勢原、金目(平塚)、曾屋(秦野)

【講書定則】原書講読、訳書解釈

【講書時間】毎日(午前10時～12時・午後1時～3時)

【原書読解】英語・仏

【テキスト】自治論(リーバー) 自由の理(ミル)

立法論綱(ベンサム) 宝氏経済学(H.フォセツ)

【主な講師】澤田 弼(1847—1898)

細川 瀏(1856—1932)

【日講課程/週】

	月	火	水	木	金	土
午前	歴史学/ 性理学	経済学/ 社会学	原書輪 読	歴史学/ 性理学	経済学/ 社会学	原書輪読
午後	政治学/ 道義学	法律学/ 論理学	訳書輪 読	政治学/ 道義学	法律学/ 論理学	訳書輪読

②湘南講学会(規約)

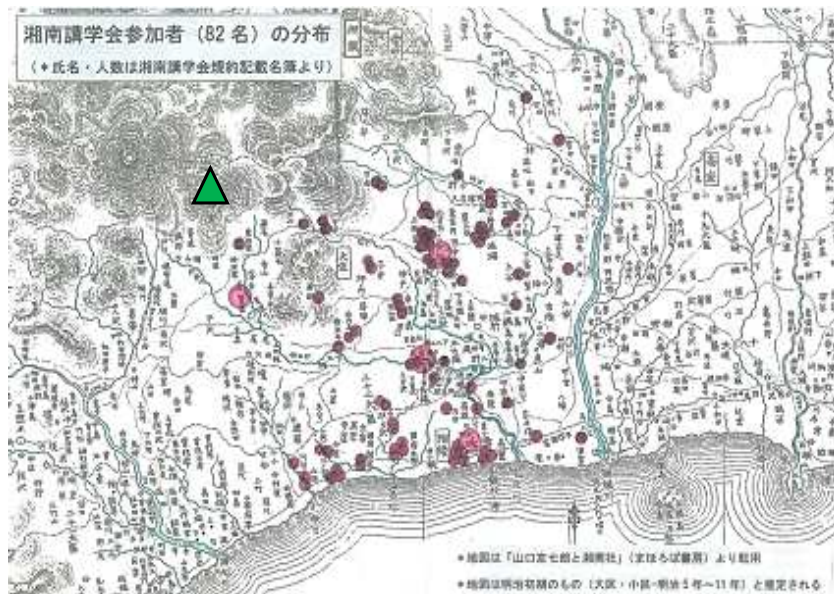
【目 的】自由の真理を開き、人権の通義を学ぶ

【時 期】1882年(明治15)1月頃～

【内 容】4科(歴史・政治・経済・法律学)
4科(性理学・社会学・道義学・論理学)

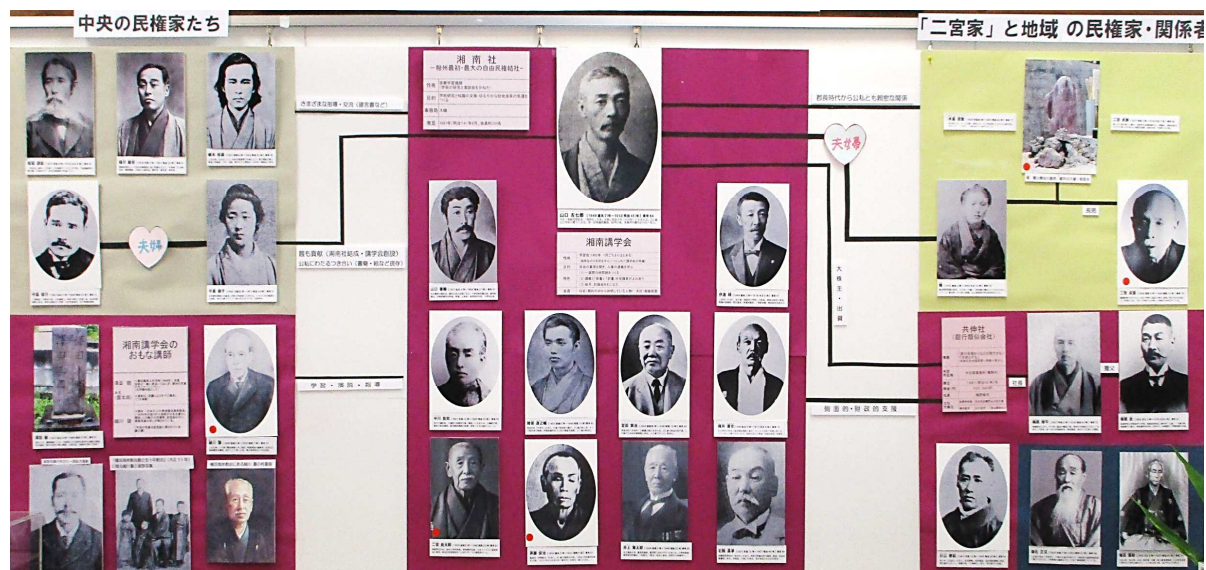
25

湘南社 講学会メンバーの分布(名簿82名)



26

湘南社社長・山口左七郎をめぐる多様な人々(相関図)



27

山口家の人々(左七郎と妻・楨を中心に)明治末頃



28

若き左七郎(20代)



山口左七郎(60代)



- 足柄上郡金子村(現大井町)に生まれる。
- 22歳の時、山口作助の養子となる。
- 山口家11代戸主
- 大住・淘綾郡郡長
- 湘南社社長
- 第一回衆議院議員
- 政界引退後、実業界や地域社会および農村近代化に尽力

(1849～1912)享年64

29

扁額(中島信行書) 「襖」(中島俊子書)



五日市憲法は現代の文化遺産！



30